

## 東日本大震災被災地への学生ボランティアの派遣について

### 1 要旨

現在、宮城県内では、仮設住宅等における被災者への生活支援等が検討され、今後、実施される状況となっている。この被災地における生活支援においては、医療・看護・介護・福祉等の専門分野のボランティア活動も重要であり、これらの分野の人材育成を図る観点から、(社福)広島県社会福祉協議会が派遣する第4陣のボランティアについては、現場での経験を積むことにより、将来専門分野でのボランティアリーダーの役割が果たせるよう、これらの分野を含む学生を派遣する。

この専門分野の学生ボランティアが被災地に出発するにあたり、知事と意見交換する。

### 2 知事と意見交換

(1) 日時 7月29日(金) 11:15~11:30 (2) 場所: 知事室

(3) 来庁者

[主催者] ・広島県社会福祉協議会 次長 新谷恭規

[派遣者] ・学生ボランティア 4名

・ひろしまボラネット応援隊 チーフコーディネーター 三戸麻子(県社協職員)

### 3 ボランティア活動内容

(1) 主催 (社福) 広島県社会福祉協議会

(2) 活動期間及び活動場所

活動期間	派遣団体と人数	計	活動場所
平成23年8月1日(月) ~平成23年8月5日(金) ※4泊5日(移動日含む)	ボランティア 35名 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">           一般17名            学生18名         </div> 広島県社会福祉協議会職員3名 安芸高田市社会福祉協議会職員1名 東広島市社会福祉協議会職員1名	40名	(宮城県) ・岩沼復興支援センタースマイル(注1) ・スマイルサロン(注2)

(3) 活動内容

- ・スマイルサロン(注2)などでの応急仮設住宅入居者を対象とした支援活動等
- ・岩沼復興支援センタースマイル(注1)の運営支援
- ・その他被災者宅等での被災家屋等における土砂撤去、応急仮設住宅でのニーズ調査等

宮城県社協及び岩沼市社協へは県・市町社協が職員を派遣し運営を支援。

宮城県内の場合、既に仮設住宅における被災者への生活支援等を検討・実施している市区町村もあり、新たなステージにおける、より専門的なボランティアの活動や生活支援員等の動きが期待されている。

(注1) 岩沼市では、8月1日よりこれまでの「災害ボランティアセンター」を変更し、「復興支援センター」を開設。

これまでの生活スペース確保を中心とした活動から、生活支援を中心とした活動へ移行することとしている。

(注2) 7月19日より、仮設住宅に住まわれている方を対象とした、サロン(お茶飲み会)を開設。

被災地への出発は、8月1日(月)午前7時に広島駅北口のホテルグランヴィア広島前から被災者生活サポートボランティア・学生ボランティアのバス2台で出発します。